

活躍する女性をご紹介します②9

今回は、フリーランス保育士の**関野夏実**さんをご紹介します。

【PROFILE】

1994 年新潟市生まれ。短期大学卒業後、市内のこども園で 8 年以上勤務。2018 年に映画上映イベントで託児スペースを作った際に、こども園とは違うこどもたちの様子に興味を持ち、「園以外で親子のサポートをしたい」という思いから、2020 年よりフリーランスとしての活動を始める。現在は、ご家庭からのご依頼はもちろん、講座やイベント開催時の保育も担当するなど活動の幅を広げており、新潟市を拠点に活動している。



■フリーランス保育士となったきっかけを教えてください。

保育の場で 11 年間たくさんのこどもたちと向き合い、経験を重ねてきましたが、同時に「もっと目の前のひとりのこども、そして一つのご家庭と深くじっくり向き合いたい」という想いが強くなったことがきっかけです。園という大きな集団の中では、どうしても一人ひとりの細かな変化や、親御さんの小さなお悩みに時間をかけて寄り添いきれない葛藤がありました。そこで、枠を飛び出しフリーランスになることで、それぞれの家庭環境に合わせた柔軟なサポートができる場所を作りたいと考えました。こどもたちが言葉にできない心の声に 100%のエネルギーで耳を傾け、親御さんの不安を安心に変えられるような、より近い距離感での深い関わりを実現するために独立を決意しました。

■仕事の内容と仕事をする上で大切にしていることを教えてください。

ご自宅の他、水族館・イベント会場などの外出先での個別保育（ベビーシッター）を行っています。また、単にお子さんを安全にお預かりするだけでなく、親御さんにお子さんの心の声を届ける「子どもと大人の通訳士」として、親子の心にそっと寄り添う存在でありたいと活動しています。仕事をする上で最も大切にしているのは、「良い時間は、良い人生をつくる」という言葉を体現する事。その場にいる全員が心地よく安心できる時間を提供することです。こどもが今何を考えているのか、どんな感情でいるのかを丁寧にすくい上げて言葉にし、親御さんへ丁寧に伝えることで、家庭の中に愛おしい時間が増え、家族みんなの笑顔が自然と広がっていくような信頼関係の構築を心がけています。

■起業やフリーランスなど今とは違う働き方を考えている女性にメッセージを

初めは、自分がやりたい・思い描いている理想の働き方と、現実のギャップに悩んだり、葛藤する方もいるのではないかと思います。「何から始めたらいいかわからない」と目の前の大きな壁の前に立ち止まってしまうこともあるかもしれません。でも、そんな時ほど遠くのゴールばかりを見つめるのではなく、“今の自分にできる小さなこと”を実直に積み重ねてみてください。そして、時にほんの少しの勇気を持ってチャレンジしてみる。そうして進んでいくうちに、気がついたら後ろを振り返ってびっくりするくらい遠くまで歩みを進めている時が必ず来ます。未来を見据えすぎず、過去にとらわれすぎず、今、自分のできる最大で「やってみたいこと」に挑戦してみましょう。互いに、良き人生となりますように！私も負けじと精進していきます！



ご案内

【各講座 無料／保育あり(生後 6 カ月以上の未就学児)】

男性の生き方講座(子育て期) 第 1 回

【開催日時:9/11(金)19:00~20:30】

【対象:父親】【定員:25 人】【保育:6 人】

【申込み締切:9/1(火)】



お申込みはこちら↑



女性の生き方講座

【対象:女性】【定員:20 人】【保育:6 人】

【申込み締切:9/6(日)】

開催日時

- ① 9/17(木)10:00~12:00
- ② 10/1(木)10:00~12:00
- ③ 10/15(木)10:00~12:00

お申込みはこちら↓



相談に携わる方のための講座

【開催日時:9/27(日)13:30~15:30】

【対象:各種相談に携わっている方(優先)】

または 関心のある方】

【定員:50 人】【保育:7 人】

【申込み締切:9/10(木)】



お申込みはこちら↑



男性の生き方講座

【対象:男性】【定員:30 人】【保育:4 人】

【申込み締切:9/13(日)】

開催日時

- ① 9/27(日)10:00~12:00
- ② 10/4(日)10:00~12:00
- ③ 10/18(日)10:00~12:00

お申込みはこちら↓



インスタ始めました



ALZA_NIIGATA

アルザにいがた

Instagram

講座情報や新着図書情報のご紹介をアップしていきます☆



男女平等をともにすすめる情報紙

アルザ

2026 年 8 月 vol.67



特集

新潟市の男女共同参画の現状と新行動計画について



アルザにいがた



発行／新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」
新潟市中央区東万代町 9-1 万代市民会館内
電話：025-246-7713 8:30~17:30 土日及び祝休日を除く
URL:https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/danjo/alza/
E-mail: alza@city.niigata.lg.jp

HPはこちら↓



●アルザにいがた窓口受付時間変更のお知らせ●

令和 8 年 10 月 5 日(月) から、下記のとおり変更となります。
【アルザにいがた事務局】
窓口受付時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分(市役所、区役所と同様)
電話対応時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
【アルザにいがた情報図書室】
開室時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分



メール配信「アルザ情報」
alza@city.niigata.lg.jp

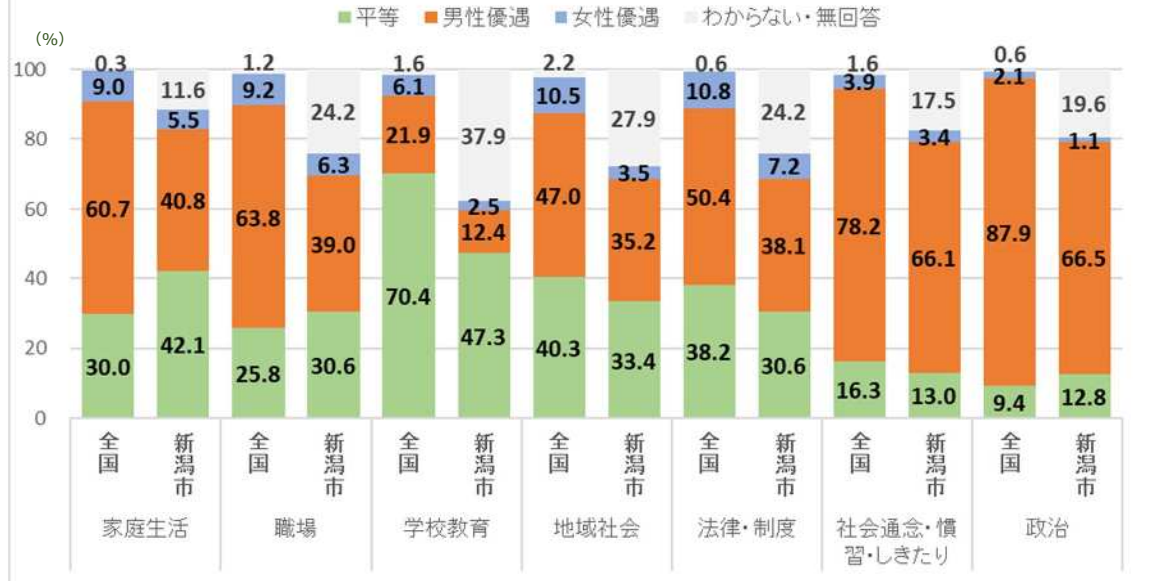




新潟市の男女共同参画の現状と新行動計画について

男女共同参画基本法及び新潟市男女共同参画推進条例に基づき、第5次新潟市男女共同参画行動計画が令和8年3月に策定されました。
新潟市の現状及び新しい行動計画の概要についてご紹介します。

◆男女の地位の平等感

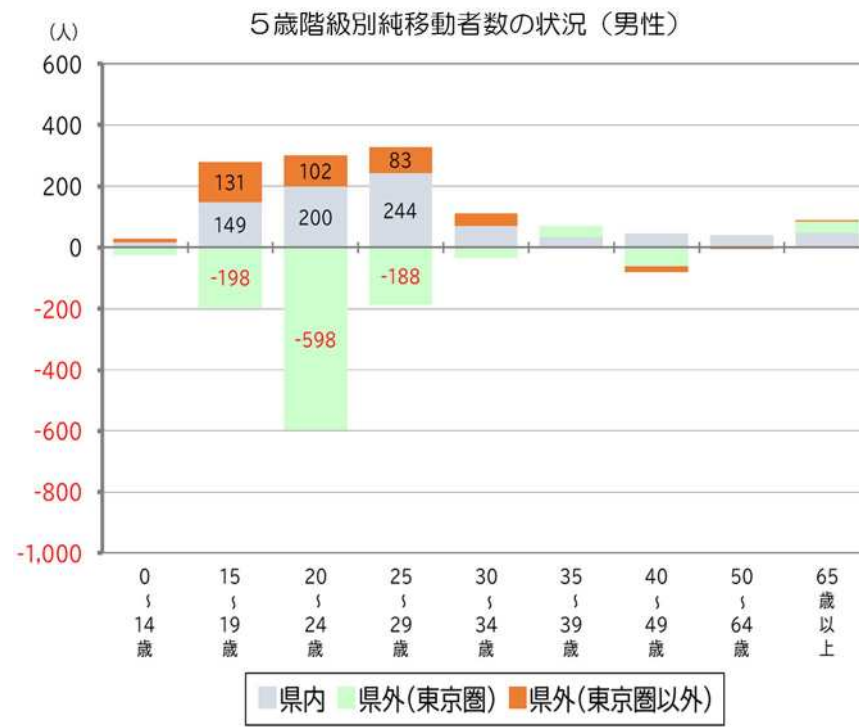
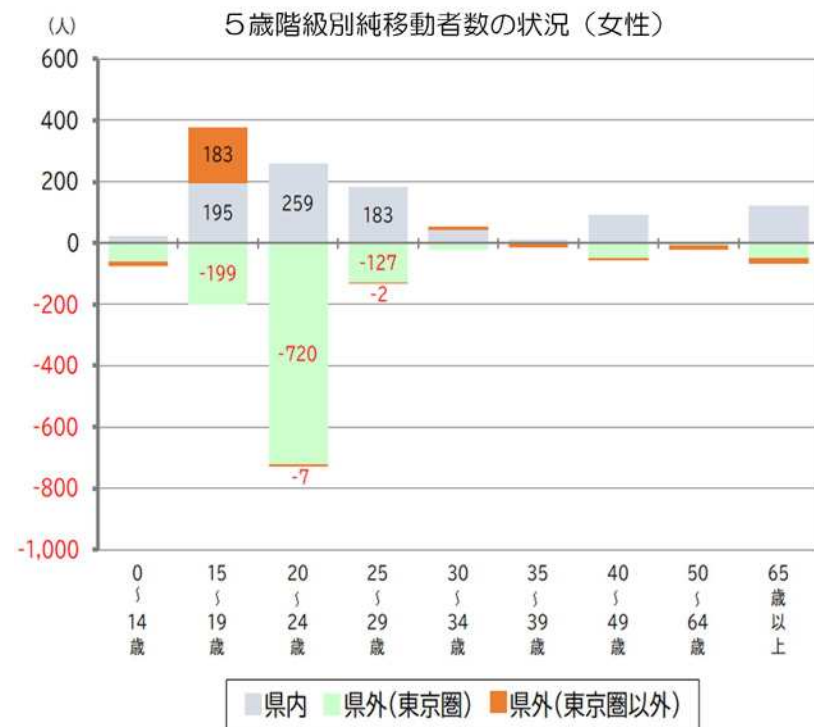


資料：新潟市男女共同参画に関する基礎調査（令和6年）、内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和6年）

全国の調査結果と比較し、新潟市の方が平等感が高い場面・分野もありますが、「社会通念・慣習・しきたり」の平等感是全国より低く、慣習やしきたりの中には、性別による固定的役割分担意識により形作られ、性別にとらわれない自分らしい生き方の幅を狭めているものもあり、男女共同参画社会を実現する上で大きな支障となっています。

男女ともに20～24歳の首都圏への転出増加が多くなっています。
国が以前行った調査では、地方は性別による固定的な役割分担意識や性差に関する偏見、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が根強く残っており、女性の居場所と出番を奪っていること、女性にとってやりがいを感じられず働きにくい環境であることにより、地方の若い女性が東京に移動している可能性が指摘されています。

◆新潟市男女別・年齢別純移動者数（転入・転出超過の状況）



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」（令和6年）

◆第5次新潟市男女共同参画行動計画（令和8年度～令和12年度）

新潟市の現状と課題をふまえ、**6つの目標**ごとに施策の方向性、具体的取組、成果指標を設定しています。

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 目標1：男女の人権の尊重と男女共同参画への理解促進 | 目標4：仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 |
| 目標2：政策・方針決定の場への女性の参画促進 | 目標5：性に関する理解と生涯にわたる健康の確保 |
| 目標3：働く場における男女共同参画の推進 | 目標6：個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保される社会の実現 |

※新潟市配偶者等からの暴力防止・被害者支援基本計画 ■、新潟市女性活躍推進計画 ■、新潟市困難な問題を抱える女性支援基本計画 ■ を包含します。



行動計画の詳細はこちら

情報図書室より 地方×女性 に関する本をご紹介します



若者・女性の流出問題に取り組む7万4000人が暮らす 小さな行政の組織改革

ZERO GAPとよおか／編著 生産性出版

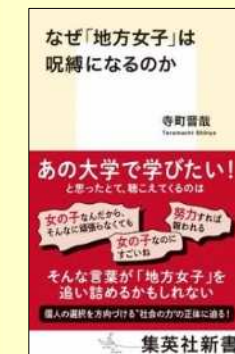
ジェンダーギャップ解消を軸にした兵庫県豊岡市で進めた若者・女性の流出問題に向き合う行政改革の実録です。若者・女性に選ばれる豊岡を目指し、まちぐるみでジェンダーギャップ解消に取り組む地道な挑戦の軌跡が描かれています。



地方女子たちの選択

上野 千鶴子／著，山内 マリコ／著，藤井 聡子／協力 桂書房

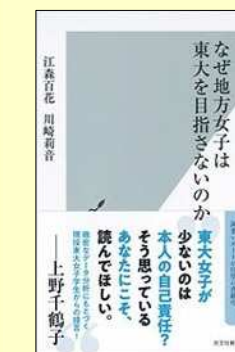
富山にゆかりのある女性14人の語りには、仕事や結婚、家族との関係で葛藤する姿が描かれており、「出る／残る」だけではない人生が見えてきます。著者の対談では、改めて14人の語りを振り返り、この本が読まれることで女性が生きやすい社会に変わるきっかけになってほしいと述べています。



なぜ「地方女子」は呪縛になるのか

寺町 晋哉／著 集英社新書

大学進学において地方に住む女性には、本人の努力では超えにくい「見えない壁」が生まれます。その社会構造の問題を調査データと当事者の声から分析し、「女子は地元」、「女子は安定した資格を」という呪縛をほぐす視点を提示しています。



なぜ地方女子は東大を目指さないのか

江森 百花／著，川崎 莉音／著 光文社新書

地方の女子高校生が難関大学を目指しにくい現実を東大の学生団体が調査、分析した一冊です。浪人回避、安全志向、自己評価の低さ、ロールモデルがないといった要因が挙げられ、地方・女性という二重の条件がより一層難関大学の選択を狭めていると論じています。

アルザにいがた情報図書室は、
新潟市図書館のカードで貸出ができます。

開室時間：月～金曜日 10:00～17:30

※10月5日(月)より 10:00～16:30へ変更

休室：土日および祝休日、第1水曜、第4月曜、年末年始、蔵書点検期間

